

# 立命館経済學

第 35 卷 第 5 号

1986年12月

関 彌三郎教授退任記念論文集

## 内 容

関 彌三郎教授退任記念論文集の刊行にさいして ……小 野 一 郎	1
プリントの統計学理論について……………有 田 正 三	3
初期の「統計法」の一典型……………浦 田 昌 計	19
——1897年のハンガリー統計局法——	
H. グローマンの統計方法論 ……………長 屋 政 勝	49
線型回帰分析の推定誤差と係数の信頼性……………稻 葉 和 夫	86
サービス経済論の系譜的展望……………鈴 木 登	111
——その理論と計測をめぐる諸問題——	
経済発展論（上）……………小 野 進	164
——A・ガーシェンクロンとA・マーシャル そして日本の経済発展への適用とその限界——	
ケインズ経済学における理論と政策……………松 川 周 二	222
——その形成と展開についての覚書——	
ケインズの道德哲学と賢人思想……………大 西 広	251
——『若き日の信条』におけるケインズの「反省」——	
日本の統計と社会統計学……………関 彌三郎	291
関 彌三郎教授略歴・主要著作目録 ……………	298

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第35巻・第3号

論 説

公的援助・直接投資と発展途上国の経済成長……………本 田 豊  
産業合理化と労働改革（下）……………三 好 正 巳

研 究

「福祉国家」の危機と社会保障政策の転換……………横 山 寿 一  
独占的商業資本の運動形態……………西 原 誠 司

研究ノート

T. ギルバートの救貧法改革論(1781年)について……………上 掛 利 博

資 料

日本資本主義確立期の資本家名簿(1)……………後 藤 靖

書 評

藤岡惇著『アメリカ南部の変貌  
——地主制の構造変化と民衆——』……………宮 野 啓 二

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第35巻・第4号

塩田庄兵衛教授退任記念論文集の刊行にさいして……………小 野 一 郎

女性研究者運動の歴史と課題……………坂 東 昌 子

労働運動の現段階と「未組織の組織化」問題……………大 木 一 訓  
——一つの覚え書き——

地域生協の課題……………田 井 修 司  
——事業経営の視点から——

産業構造の「転換」と労働組合運動の課題……………戸木田 嘉 久  
——多国籍企業化・ME「合理化」とも関連して——

職場労使関係と労働組合運動……………三 好 正 巳

地方財政改革「運動」の変化とその背景……………坂 野 光 俊

核兵器廃絶の展望と日本の原水爆禁止運動……………安 齋 育 郎

障害者共同作業所づくり運動と福祉政策……………上 掛 利 博

社会・労働運動を学んで40年……………塩 田 庄 兵 衛

塩田庄兵衛教授略歴・主要著作目録

発行所 立命館大学経済学会